

**Rinnai**

# 2013年度期末 決算説明

2014年5月9日

# 2013年度 連結決算要点

1

**売上高:2869.8億円** (前期比 +14.0%)

国内は想定以上の販売増、堅調な海外販売と為替影響で増収

**営業利益:340.1億円** (前期比 +29.1%)

日本、中国、アメリカが好調 増収効果と原価低減努力で増益

**経常利益:369.1億円** (前期比 +27.0%)

営業利益改善と持分法利益、利息、配当金の加算により増益

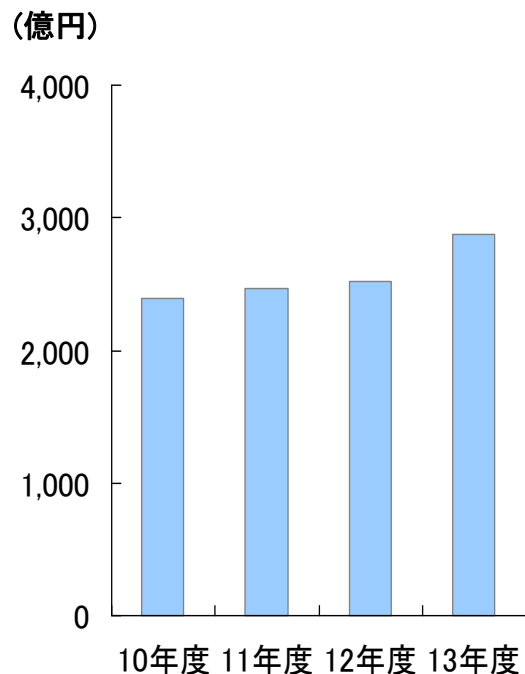
**当期純利益:232.5億円** (前期比 +20.0%)

特筆すべき利益加算無く経常利益改善で増益

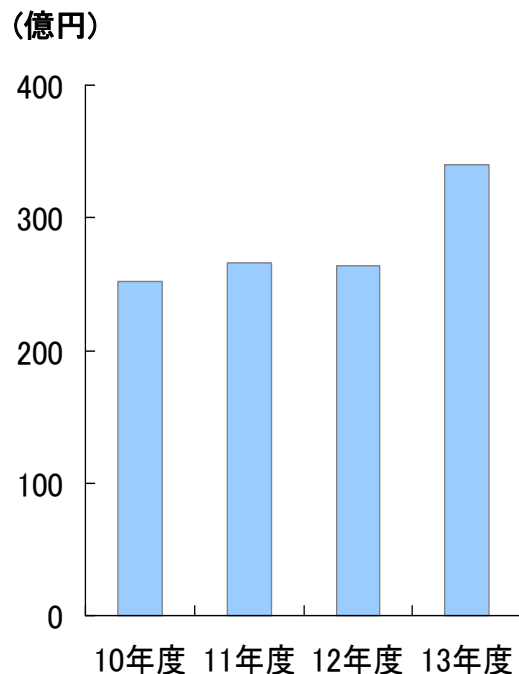
- ・営業利益率:11.9%、経常利益率:12.9%、純利益率:8.1%と高水準
- ・中期経営計画『ジャンプUP 2014』経営数値目標を1年前倒しで達成

- ・**リンナイインドネシアを連結子会社化**(2013年度よりB/Sに反映、2014年度よりP/Lに取込)

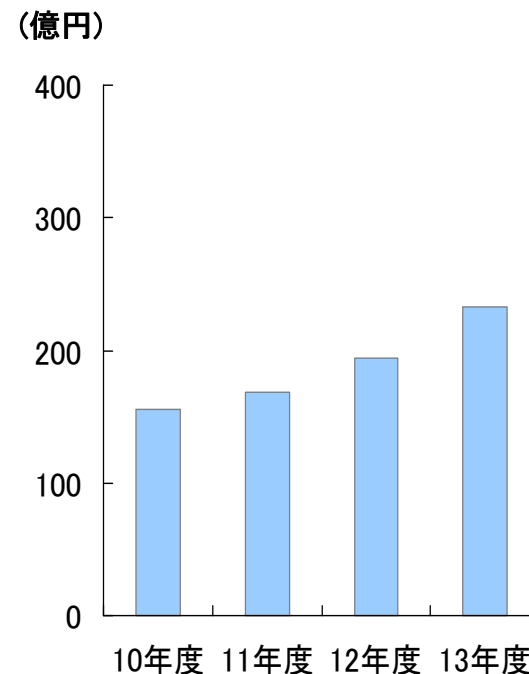
## 売上高



## 営業利益



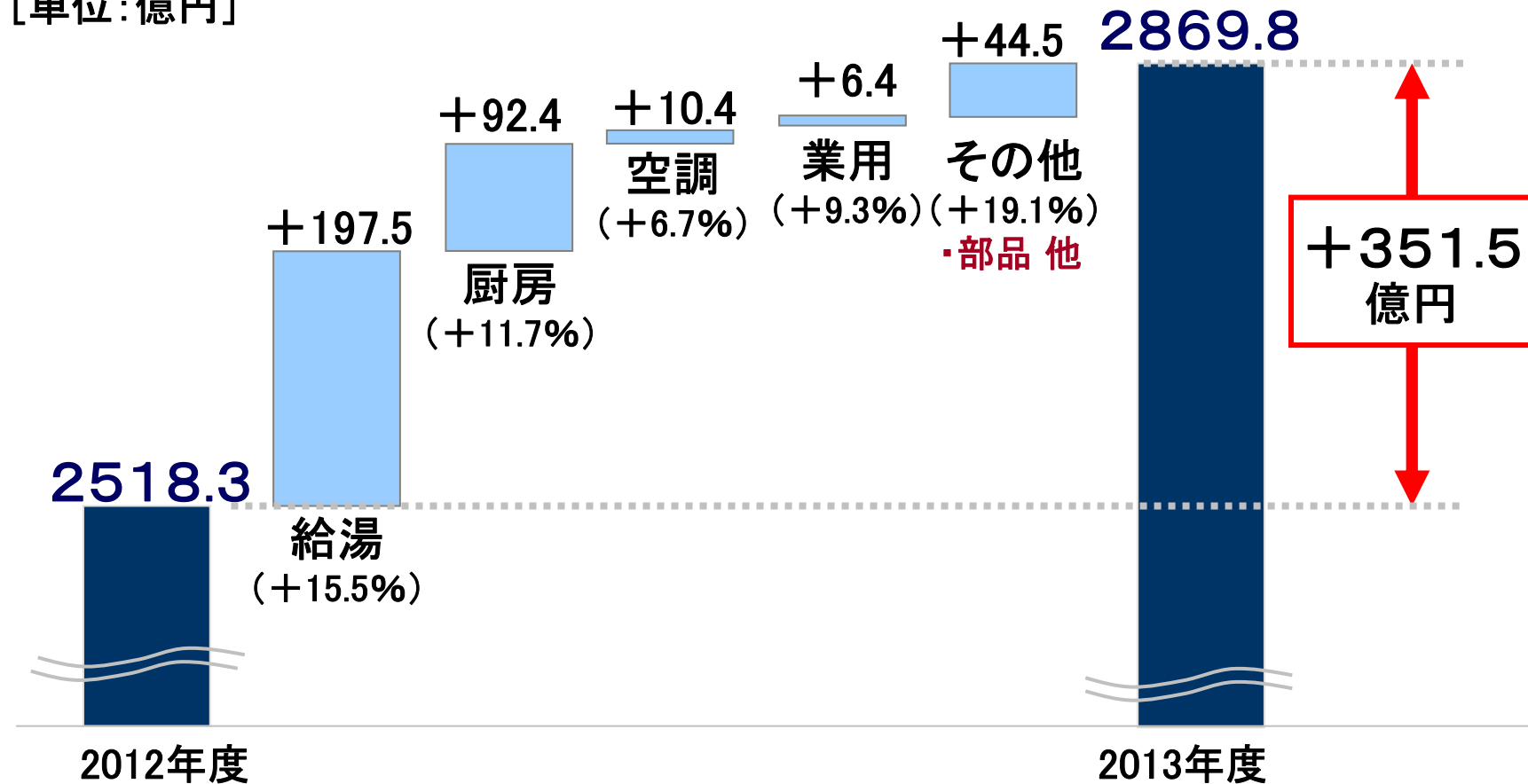
## 当期純利益



- ・国内外で安定した成長。増収増益基調を継続
- ・売上高、営業利益、経常利益、純利益とも過去最高

# 2013年度 連結売上分析(商品別)

[単位: 億円]



- ・第4四半期に国内での消費増税による需要増で厨房機器が大きく伸長
- ・国内での高付加価値商品へのシフトと、海外での成長で全商品分野で売上増

# 2013年度 連結損益実績内訳

[単位:億円]

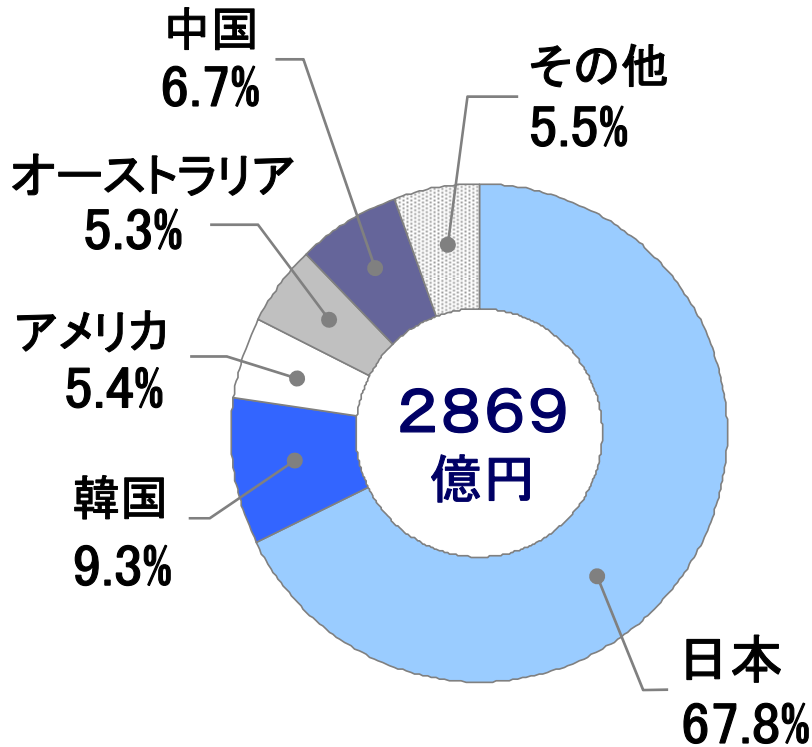
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
<b>連結</b>	2869.8	+14.0%	340.1	+29.1%	11.9%	+1.4P



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
<b>リンナイ</b>	2055.9	+9.0%	242.7	+34.4%	11.8%	+2.2P
<b>国内関連</b>	1051.1	+8.6%	27.7	+15.5%	2.6%	+0.2P
<b>海外関連</b>	991.5	+28.6%	72.5	+21.7%	7.3%	△0.4P
<b>合計</b>	4098.6	+13.1%	343.0	+29.8%	8.4%	+1.1P

# 連結売上高 セグメント(地域)別構成比

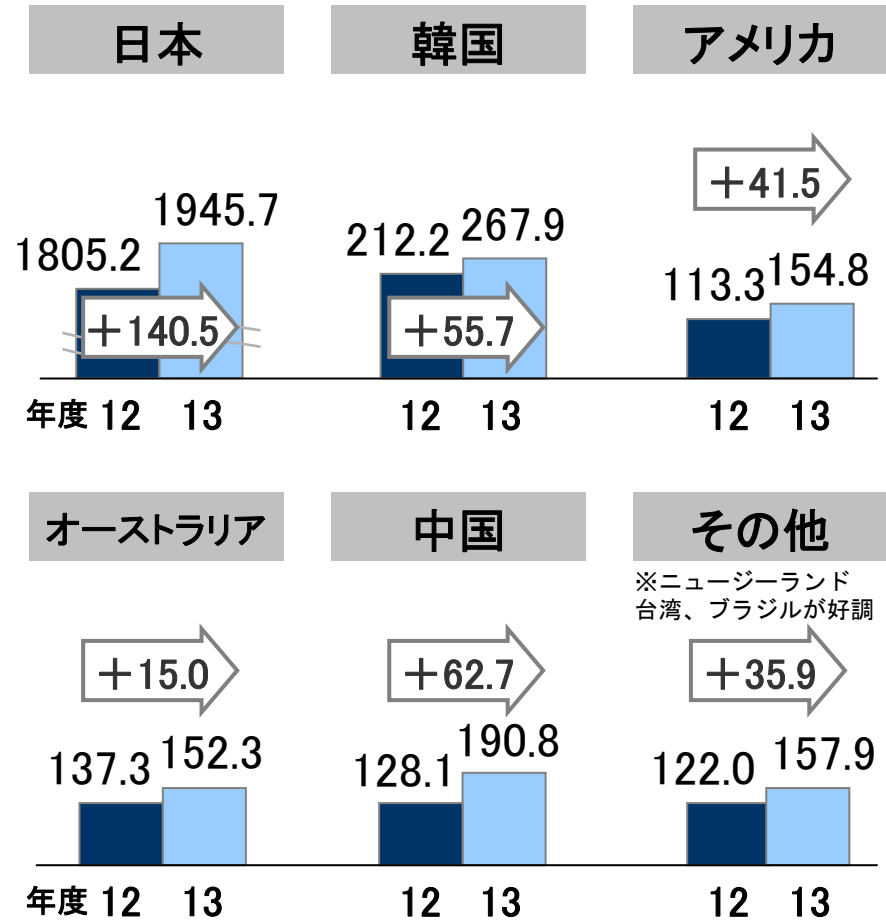
## 2013年度 売上高



※その他:台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

## セグメント(地域)別前年比較

[単位:億円]



# 商品別売上実績（給湯機器）

商品構成比：51.2%



日本

アメリカ



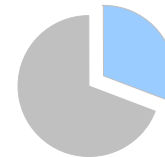
オーストラリア

[単位:億円]	2012年度	2013年度	前期比 増減率
日本	832.3	906.1	+8.9%
韓国	94.3	107.1	+13.6%
アメリカ	101.6	140.1	+37.9%
オーストラリア	77.9	82.3	+5.7%
中国	104.6	154.3	+47.6%
その他	60.3	78.6	+30.3%
合計	1,271.2	1,468.8	+15.5%

- ・国内は給湯暖房システム等、高付加価値商品へのシフトが加速
- ・アメリカでの景気回復、中国での生活水準向上に伴い現地販売好調
- ・韓国、オーストラリアは景況感悪化で伸び悩む

# 商品別売上実績（厨房機器）

商品構成比：30.7%



日本



韓国



中国

[単位：億円]

	2012年度	2013年度	前期比 増減率
日本	681.4	732.5	+7.5%
韓国	54.8	76.6	+39.7%
中国	20.2	28.8	+42.9%
その他	31.2	42.1	+35.0%
合計	787.8	880.3	+11.7%

- ・国内はビルトインコンロの成長に加え、消費増税による需要増でテーブルコンロも挽回
- ・韓国ではコンロ過熱防止装置の取付け義務化。単価上昇で売上増
- ・中国ではガスインフラ拡大と生活水準向上でコンロ、レンジフードが好調



# 商品別売上実績（空調機器）

[単位:億円]	2012年度	2013年度	前期比 増減率
日本	98.2	95.8	△2.4%
韓国	3.2	3.4	+7.5%
アメリカ	10.1	13.5	+33.3%
オーストラリア	40.3	47.4	+17.7%
その他	4.6	6.8	+45.4%
合計	156.6	167.1	+6.7%

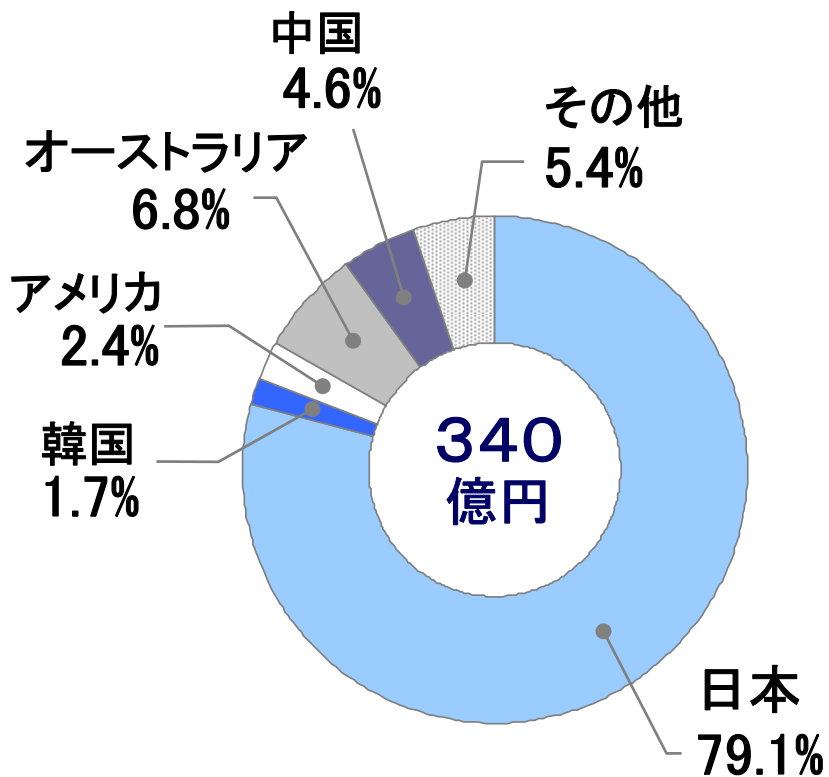
商品構成比：5.8%



- ・日本では震災後の節電志向によるガス暖房機需要は一巡  
2010年度対比で+17.7%と高水準を維持
- ・オーストラリアでは暖冬影響で伸び悩む

# 連結営業利益 セグメント(地域)別構成比

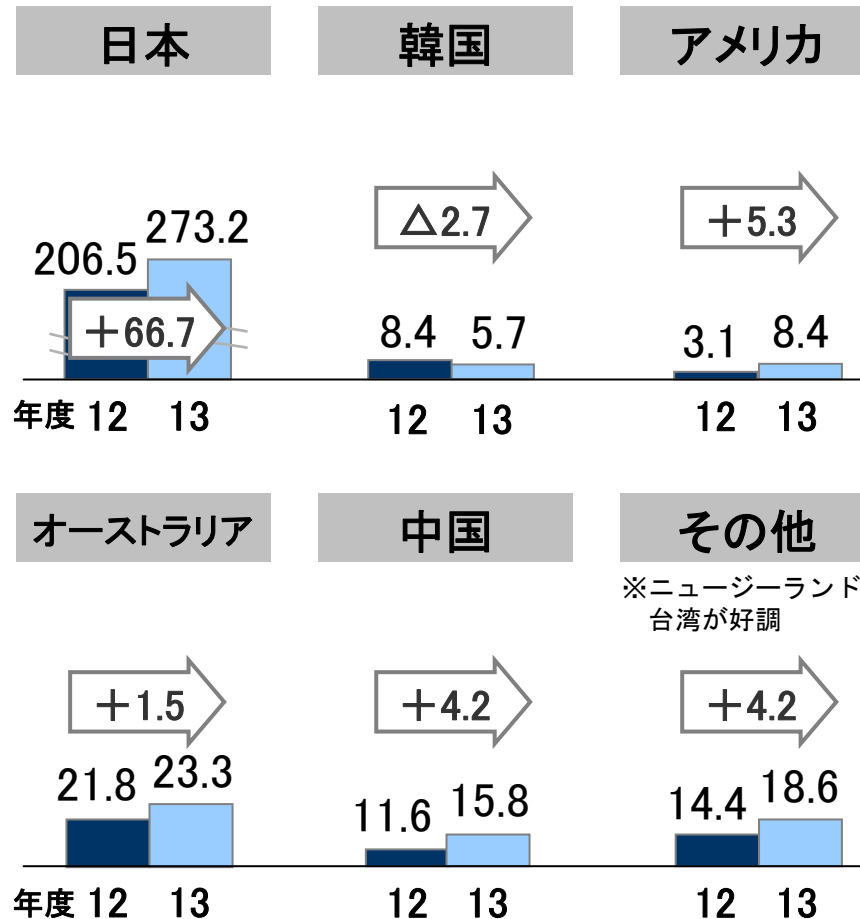
## 2013年度 営業利益



※その他:台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

## セグメント(地域)別前年比較

[単位:億円]

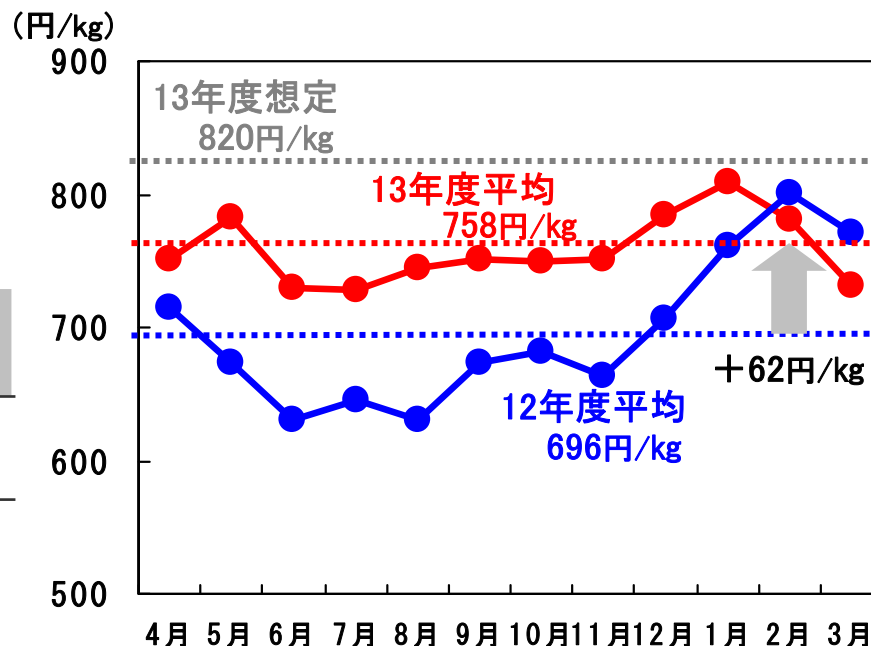


## 電気銅の動向

- ・13年度の期初の想定単価  
820円/kg を下回り推移

	12年度	13年度	前期比 増減率
平均単価	696	758	+8.8%

※使用箇所: 給湯器(熱交換器等)

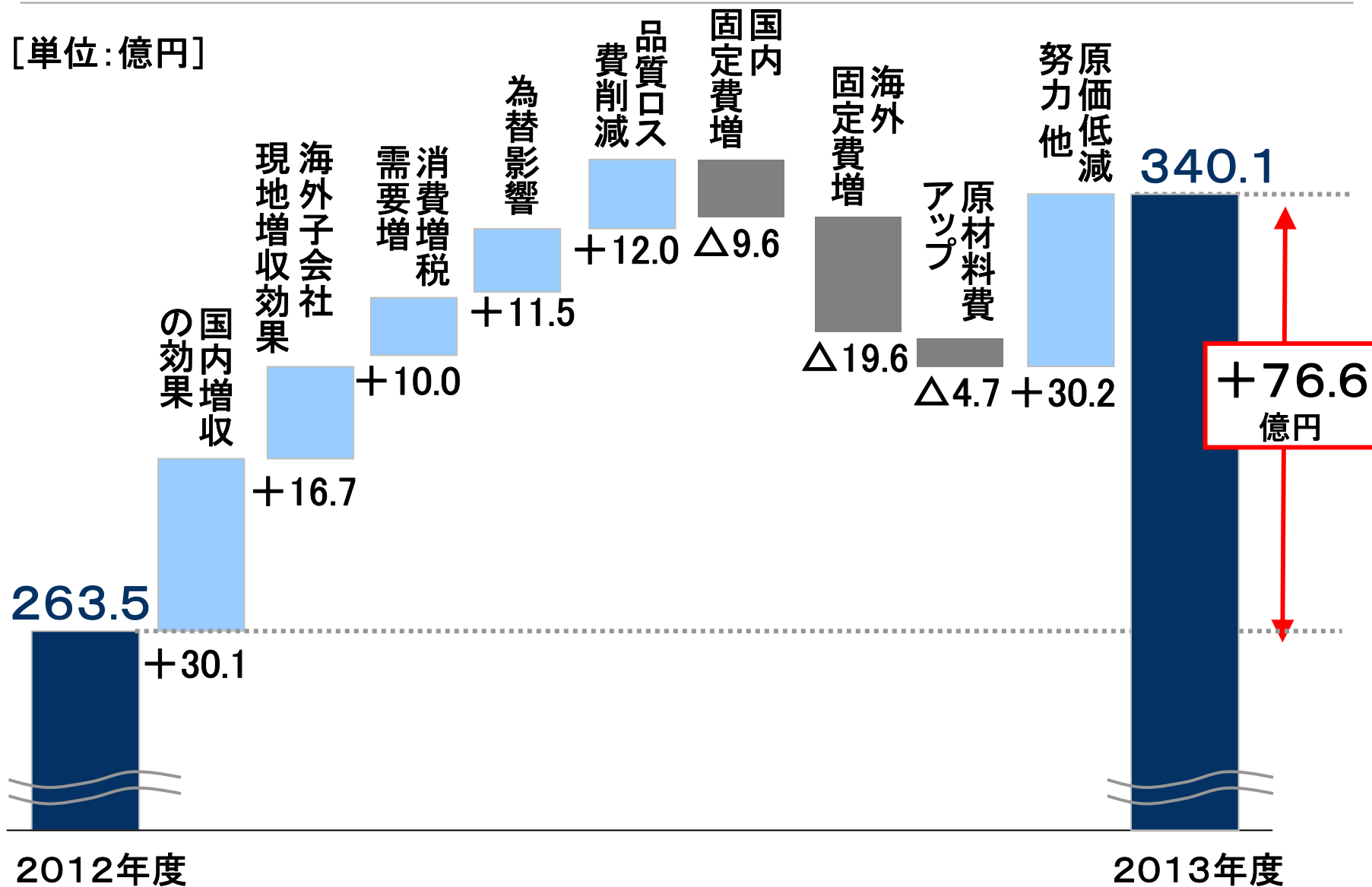


## 鉄鋼の動向

- ・鉄鋼材料は昨年並みの水準で推移

# 2013年度 連結営業利益分析

[単位: 億円]



# 熱と暮らしを創造する Rinnai

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。